

900万のドイツ人が哭いた——無敵の潜水艦Uボートの凄まじい反撃！



ein Film von WOLFGANG PETERSEN

Das Boot

頭上に敵艦のスクリー音/炸裂する爆雷/きしむ船体——それでも行け、進め、地獄を突っ切れ！

Uボート

ユルゲン・プロホフ/ヘルベルト・グレーネマイヤー
クラウス・ヴェンネマン/フーベルトゥス・ベングシュ
マルティン・ゼメルロゲ

DOLBY STEREO
DOLBY DIGITAL

西ドイツ映画(カラー作品)

日本ヘラルド映画



原作#ロタール・ギュンター・ブーフハイム

製作#ギンター・ロールバッハ

監督#ウルフガング・ペーターゼン

美術#ロルフ・ヴェルトバウアー

撮影#ヨスト・ツァカーノ

音楽#クラウス・ドルフィンガー

バウリア・アトリエ/ラディアントフィルム作品

原作・早川書房刊



ボルトが飛ぶ！水が噴き出す！
物語
U96、死の淵から浮上なるか？

1941年、ナチス占領下の仏の港町ラ・ロシエルから、43名の若者たちが乗り組んだU96は戦闘の渦中へと出航した。艦長が最年長で30才、他はほとんどが20代前半の孤独も絶望も知らぬ若者ばかりであった。

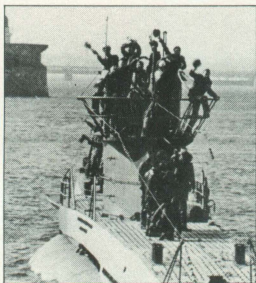
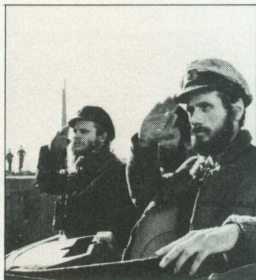
敵の姿も見えず、嵐の中、乗組員たちは狭い艦内で肉体的にも精神的にも限界に達していた。無為な日々が流れていった。

やっとU96は敵の艦隊を発見した。魚雷が発射された。と同時に、はげしく駆逐艦から爆撃を受けた。U96は深く、もっと深く潜っていく。水深230メートル。海水が司令室に噴き出してきた。死人のような顔つきで艦の修復に当たる乗組員たち。そのとき、不意に攻撃が止んだ。浮上したU96に、海に放り出された敵の兵士たちが助けを求め、生存者を助けることを禁じられていた彼らは、ただ見守るしかなかった。彼らは戦争に打ちひしがれ、無意味な死に打ちひしがれていた。

ジブラルタル海峡を通過中、U96は致命的な攻撃を受けた。ドテツ腹に爆雷が炸裂し、砲台も吹き飛ばされてしまった。状況は絶望的だった。U96は水深280メートルの海床に激突した。ボルトが弾丸のようにぶっ飛び、浸入した海水が負傷した男たちの血を流した。熱と悪臭、そして、恐怖にヘドを吐きながら修復作業が続けられる。どれだけの時間が過ぎたろうか。酸素は欠乏し、外には暗い死の海が広がるばかり。

U96、死の淵から浮上なるか……。

U-ボート



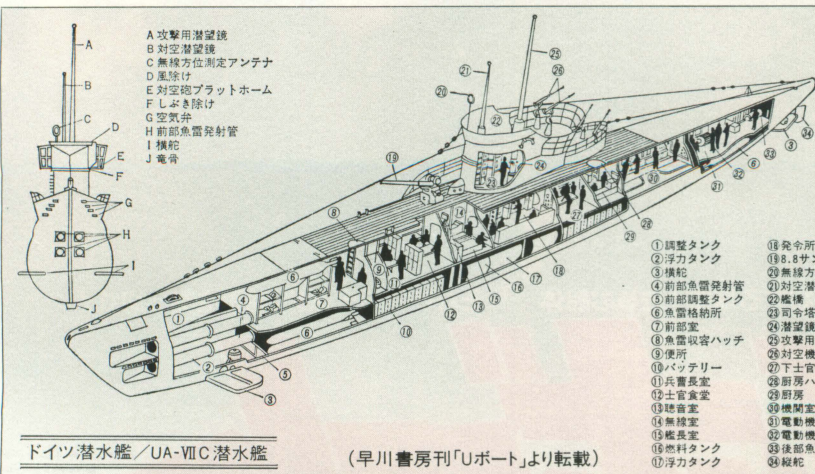
カラー作品 **Das Boot**

10日間で100万人の大ヒット！
解説
日米英仏…82年1月同時公開。

9月17日にミュンヘンでワールドプレミア。18日に西独 220劇場で公開され爆発的大ヒット。10日間で100万人の動員、2週間で517万ドル(11億円)という戦後最大のヒットを記録。その秘密は、当時4万人の乗組員中3万人が死んだという潜水艦戦争に命を捧げた若者たち(艦長30才、乗組員は20才)の青春の悲しみだった。このテーマは世界的関心呼び、米英仏ほかはコロムビアの手によって、全世界同時に82年1月浮上する。

Uボートとは、ドイツ語のUnterseeboot(潜水艦)の頭文字をとって名づけられた。第一次、第二次大戦中の、最も優秀なドイツ軍潜水艦。一時イギリスを飢餓寸前まで追いやり、日本海軍とも交流があった。映画では全長60メートルの現寸大の実物を2隻建造し、その迫力たるやド胆を抜く。深度計の針が限界を越えてピクピク動く恐怖。水圧で飛ぶボルトの激突音。特殊効果と水中撮影をふくめて、俳優もスタッフも一年間実際の潜水艦生活をしたも同然だった。

ドイツ映画史上最高の2000万マルク=18億円という巨費を投じたこの作品の原作は、Uボートに実際に乗り組んだ従軍記者(映画ではヴェルナー中尉と呼ばれている)の経験をつづったベストセラー小説で、16カ国語に訳され、世界で200万部のベストセラー小説。準備に3年、撮影に250人のスタッフと1年の歳月を要し、焼いたフィルムが100万フィート。あらゆる意味で、ドイツ映画界が総力をあげて世界に問う、感動の超大作である。



キミたちはUボートを知っているか

U96の全貌
(VII C型潜水艦)

■技術データ

全長/67メートル
最大直径/6.5メートル
浮上時排水量/761トン
潜水時排水量/865トン
活動可能潜水深度/90メートル

■最高速度

海上航行時/17.3ノット
潜水航行時/7.6ノット